

平成30年北海道胆振東部地震における 災害情報の共有について

平成31年1月17日
北海道総務部危機対策局
危機対策課長 加納 孝之



目次

- 地震の概要
- 被害状況
 - 厚真町、安平町、むかわ町、札幌市、北広島市（写真）
 - 人的被害、住家被害等
 - 被害額等（道及び市町村分）
- 災害への備え
 - 災害対策本部指揮室（情報共有の場）
 - 防災共通地図（情報共有のツール）
- 胆振東部地震における対応
- 平成30年北海道胆振東部地震災害検証

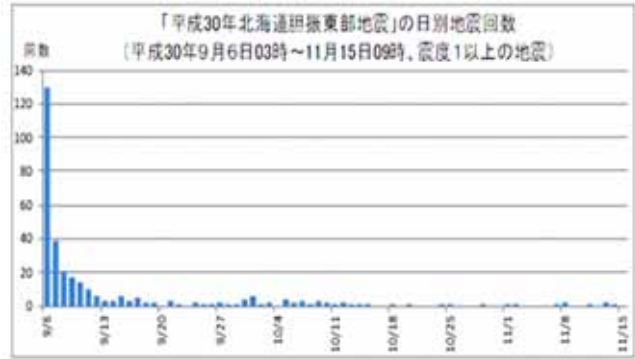
地震の概要

平成30年9月6日3時7分、胆振地方中東部でマグニチュード6.7の地震が発生し、**厚真町で震度7**、安平町、むかわ町で震度6強、札幌市東区、千歳市、日高町、平取町で震度6弱を観測

【震度分布図】 9月6日 3時7分の地震 M6.7 (最大震度7)

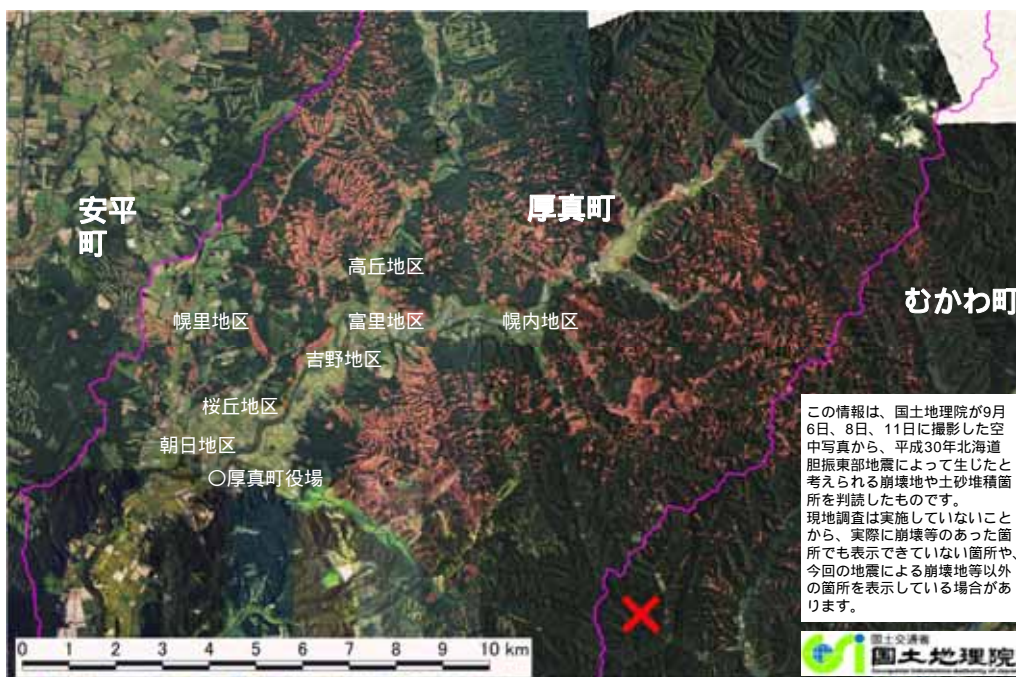


【日別地震回数】

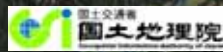


【引用元：気象庁資料】

被害状況



この情報は、国土地理院が9月6日、8日、11日に撮影した空中写真から、平成30年北海道胆振東部地震によって生じたと考えられる崩壊地や土砂堆積箇所を判読したものです。現地調査は実施していないことから、実際に崩壊等のあった箇所でも表示できていない箇所や、今回の地震による崩壊地等以外の箇所を表示している場合があります。



被害状況(厚真町 吉野地区)

2018年9月6日撮影



2011年撮影



地理院地図(電子国土WEB)を加工して作成

被害状況(厚真町 富里地区)

2018年9月6日撮影



2011年撮影



地理院地図(電子国土WEB)を加工して作成

被害状況(安平町、むかわ町)

• 安平町



斜面の崩落



道路の損壊

• むかわ町



建物の倒壊



建物の倒壊

被害状況(札幌市、北広島市)

• 札幌市



道路の損壊



建物の倒壊

• 北広島市



建物の倒壊



建物の倒壊

被害状況(平成30年12月28日現在)

自治体名	人的被害		住家被害		避難状況			
	死亡	負傷	全壊	半壊	項目	最大	12月28日現在	
北海道	41	751	460	1,563	避難箇所	128 市町村 768 箇所	なし	
					避難者数	16,649 人	なし	
主な被災市町	厚真町	36	61	222	308	ライフライン		
	むかわ町	1	252	30	119	項目	最大	12月28日現在
	安平町	0	12	93	351	電 気	停電 295万戸(道内全域)	なし
	苫小牧市	2	23	0	3	水 道	断水 44市町村 68,335戸	なし
	日高町	0	36	3	54	道 路	通行止め 国道 4路線4区間 道道 14路線20区間 高速道路 4路線6区間	通行止め 国道 なし 道道 2路線2区間 高速道路 なし
	新ひだか町	1	0	0	0	空 港	新千歳：国内線・国際線 全便欠航 その他：一部欠航	通常運航
	札幌市	1	296	93	677	鉄 道	在来線・新幹線 全面運休	通常運行 (日高線除く)
	江別市	0	5	1	23			
	千歳市	0	11	1	1			
	北広島市	0	7	17	20			



被害額(平成30年12月28日現在)

区 分	被害額(百万円)			
	地震関係	停電関係	計	
総合政策部	港湾施設被害(苫小牧港)等	3,216	12	3,228
環境生活部	水道施設等の損壊、災害廃棄物処理	8,572	-	8,572
保健福祉部	社会福祉施設等の損壊	3,188	9	3,197
経済部	商業被害、工業被害等	11,995	13,556	25,551
農政部	畜産物被害、営農施設被害等	15,439	2,486	17,925
水産林務部	林地崩壊、治山施設等の損壊	51,171	221	51,392
建設部	河道埋設、崩土除去、橋梁損傷等	123,604	-	123,604
教育庁	学校・社会教育施設等の損壊	5,575	1	5,576
その他		537	2	539
合 計		223,297	16,287	239,584



災害への備え(災害対策本部指揮室)

- 供用開始 平成28年7月1日
- 面積 約450m²(約136坪) 本庁舎地下1階
- 整備費
 - 設備工事費 約23百万円
 - 備品費 約20百万円



災害への備え(災害対策本部指揮室)

- 設置備品
 - 80インチ大型モニター 1台
 - 40インチモニター 12台
 - 大判プリンター 1台
 - 複合プリンター 8台
 - シュレッダー 6台
 - ホワイトボード 16台
 - 電子黒板機能付きプロジェクター 1台
 - テーブル 101卓
 - 椅子 162脚



災害への備え(防災共通地図)

• 経緯

- 平成28年の台風等災害における検証を踏まえ、関係機関間での**情報共有を図るためのツール**として、昨年度整備
- 各種訓練や実災害等における活用を通じ、利便性の向上や実効性を確保

• 概要

- **国土地理院提供の電子地図をベースマップ**とし、防災拠点となり得る施設やハザードマップなどの情報を重ねて表示
表示情報(例)：防災関係機関、指定緊急避難所等、病院、輸送拠点(貨物駅・空港・港湾等)、ヘリポート、道路など
- **住所のほか経緯度・UTM**の各グリッドを一つの地図に表示することで、関係機関による位置情報の共有が可能

災害への備え(防災共通地図)

• 北海道地域防災計画における位置づけ(抜粋)

- 災害の種別や地域に応じて、国等の関係機関と連携・協力して対応にあたるため、関係機関間の情報共有ツールとして「**防災共通地図**」を活用することにより災害情報等を一元的に把握するものとする。

• 活用方法

- 国等の関係機関との情報共有に努めているほか、庁内においても本庁のほか各振興局において活用
- 各種の訓練などを通じて実践・検証を行って実効性を確保するため、指揮室設置訓練などで実践

災害への備え(防災共通地図)



災害への備え(防災共通地図)



胆振東部地震における対応(指揮室)

• 通常の体制

- 日直・宿直による24時間体制、2名常駐
- 災害情報の受信・連絡

• 9/6 3:07 地震発生

北海道災害対策本部 (9/6 3:09設置 本部長：知事)

北海道災害対策本部指揮室 (9/6 4:00設置 指揮室長：副知事)
道庁地下1階危機管理センター [10/15廃止]

統括・広報班：総括的な指揮や報道対応

救出・救助班：救出救助活動の総合調整

情報班：被害情報等の把握や集約、提供

避難者対策班：避難所等への物資の調達

道路交通・河川班：道路の被害状況等の把握

応急医療班：医療救護の把握やDMATとの調整等

ライフライン・公共交通機関班：状況把握

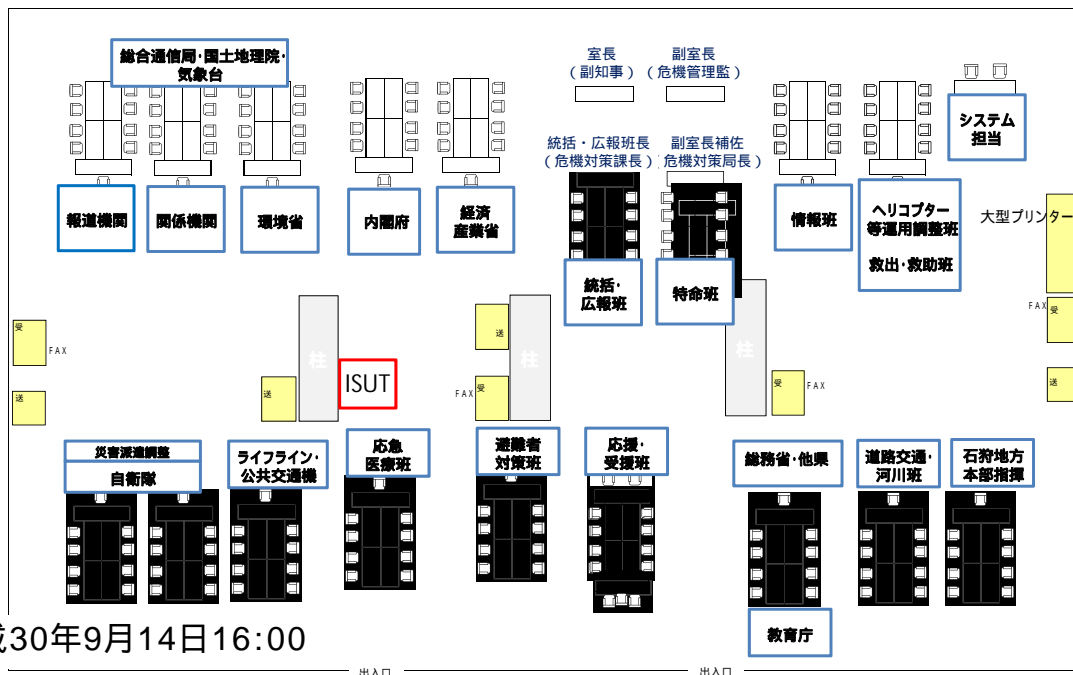
応援・受援班：物資輸送の調整や職員の派遣等



胆振東部地震における対応(指揮室)



胆振東部地震における対応(指揮室)



胆振東部地震における対応(指揮室)

● 参集機関

● 道内防災関係機関

- 自衛隊、道警察、道教委、総合通信局、厚生局、農政事務所、森林管理局、経済産業局、産業保安監督部、開発局、運輸局、地方測量部、気象台、海上保安本部、地方環境事務所、防衛局、日赤、NTT東日本、ドコモ、KDDI、ソフトバンク、北海道電力 等

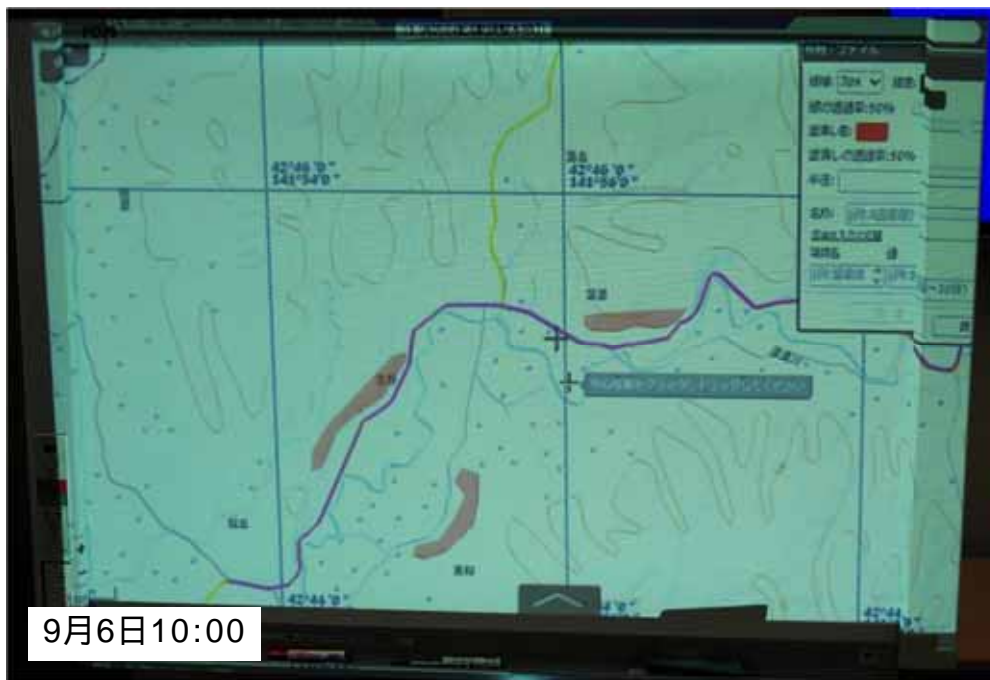
● 中央省庁等

- 内閣府(防災)、総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、消防庁、林野庁、ISUT(災害時情報集約支援チーム)

● 道外各県等

- 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県ほか

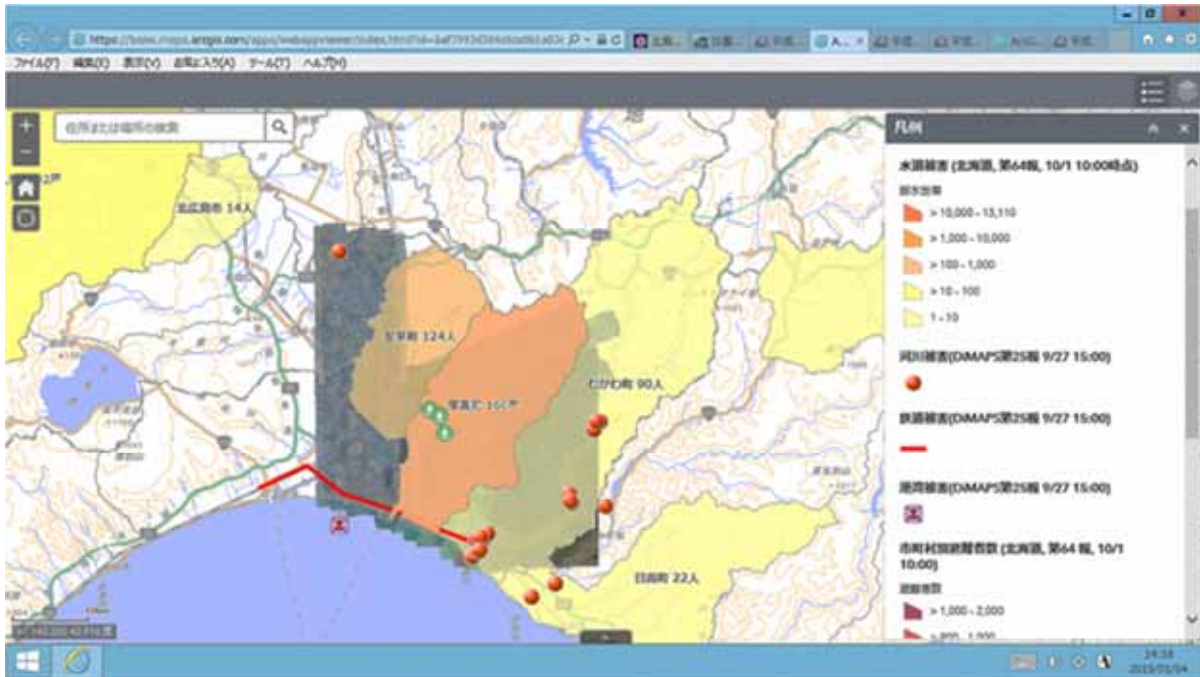
胆振東部地震における対応(防災共通地図)



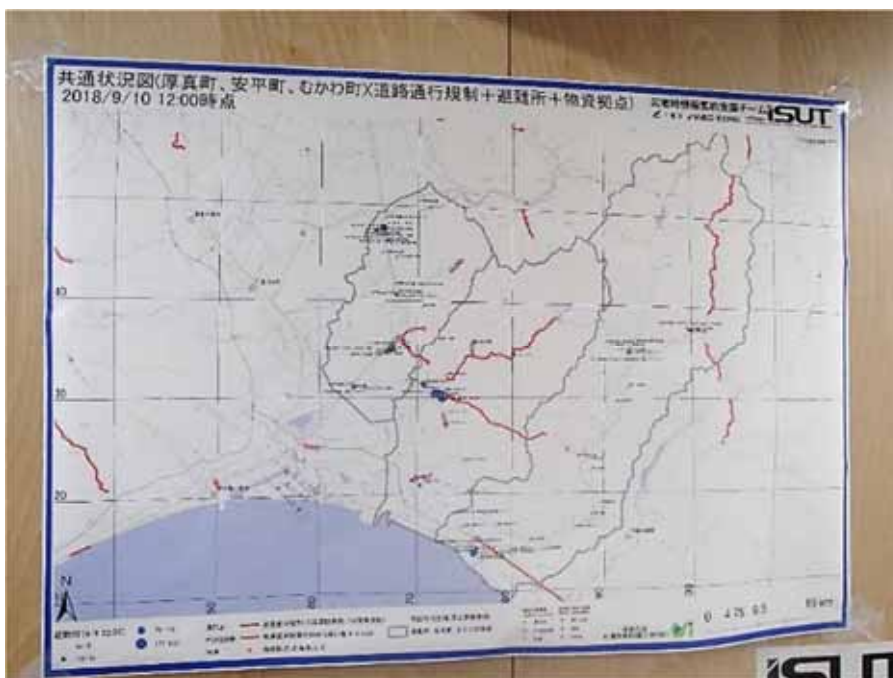
胆振東部地震における対応(ISUT)



胆振東部地震における対応 (ISUT)



胆振東部地震における対応 (ISUT)



胆振東部地震における対応 (ISUT)

平成30年北海道胆振東部地震

共通状況図 (安平町・厚真町・むかわ町)

災害時情報集約支援チーム **ISUT**
内閣府 NIED 防災科研 HITACHI



胆振東部地震における対応 (ISUT)

平成30年北海道胆振東部地震

厚真町 (道路+避難所+給水入浴)

災害時情報集約支援チーム **ISUT**
内閣府 NIED 防災科研 HITACHI



平成30年北海道胆振東部地震災害検証

• 検証の目的

- この度の災害に関し、道、市町村及び防災関係機関等が講じた災害応急対策等が、住民の生命や生活を守るために十分に機能したか課題等を明らかにし、検証結果について、防災計画等に反映させるなど、防災対策の一層の充実強化に生かしていくとともに、災害教訓として、広く周知・共有し、本道の防災力の向上に資する。

• 検証委員会の設置

- 北海道防災対策基本条例に基づき、知事からの諮問により、北海道防災会議において、災害検証委員会を設置
- 設置日 平成30年11月6日
- 委員等 座長 佐々木貴子（北海道教育大学教授）他15名

平成30年北海道胆振東部地震災害検証

• 検証項目(災害検証実施要領に定める15の検証項目)

- 情報収集・通信、避難行動、避難所運営・支援、物資及び資機材の備蓄・支援、災害対策本部の体制と活動、救助救出・災害派遣要請、医療活動、広報・情報提供、ライフライン、交通、孤立地区、ボランティア、被災市町村の行政機能、積雪寒冷期等、防災教育

• 検証方法

- 災害発生時から応急対策までの期間を対象に、検証項目毎に関係機関等からの意見聴取、被災市町村の職員や住民からのヒアリングなどを通じて課題等を抽出し、論点整理を行い、対応策等について取りまとめる
- 平成31年3月中に中間提言、4～5月頃に最終取りまとめ



The screenshot shows the official website of the Hokkaido Disaster Verification Committee. At the top left is the Hokkaido logo and the text '北海道'. To the right, a security notice states: '個人情報を入力するページは暗号化通信 (SSL) により、保護しています。' Below this are navigation links for 'ホームページの使い方', 'ウェブサイトマップ', and '文字を大きくするには'. A search bar is labeled 'サイト内検索' with 'Google カスタム検索' and a '検索' button. A main navigation menu includes 'ホーム', '観光', 'くらし・医療・福祉', '環境・まちづくり', '教育・文化', '産業・経済', and '行政・政策・税'. A breadcrumb trail reads: 'ホーム > 経路表 > 危機対策課 > 北海道胆振東部地震災害検証委員会 (H30.11～)'. Social media icons for LINE, Twitter, and Facebook are present. A '音声で読み上げる' button is also visible. The page is updated as of '最終更新日: 2018年12月26日 (水)'. The main content area features a section header '平成30年北海道胆振東部地震災害検証委員会' followed by a paragraph explaining the committee's purpose: '道では、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震災害に関し、道、市町村、防災関係機関等が講じた災害応急対策等が住民の生命や生活を守るために十分に機能したかを把握するとともに、課題等を明らかにし、その結果を今後の防災対策に反映するため、北海道防災対策基本条例に基づき、知事からの諮問により北海道防災会議において、災害検証委員会を設置し検証を行っております。' Below this are two sub-sections: '第1回災害検証委員会' (Date: 平成30年11月16日 (月) 9:00~12:25, Venue: 札幌ガーデンパレス 2階 孔雀) and '第2回災害検証委員会' (Date: 平成30年12月25日 (火) 13:30~16:50, Venue: ホテルポルスター札幌 2階 メアエト).